

飲酒運転根絶への

灯をともし、共に素敵な生き方を —



TOMOS

ともす

Vol.28

年3回発行(次号は9月25日)

タレント
岡澤アキラさん

飲酒運転根絶フォーラム 2026
いのちの音・こころの声



TOMOS Vol.28

2026年5月25日

発行/NPO法人 はちスペース

〒813-0032 福岡県福岡市東区土井2-34-16

お問い合わせ/ ☎ 092-692-6316

20th Anniversary



パーフェクトワンは、世界のトップモデルの輝きを支えるブランドとして、ミラノ・パリのファッションイベントに登場しました。

おかげさまで、新日本製薬のスキンケアブランド「パーフェクトワン」は、2026年に誕生20周年という節目の年を迎えます。

これもひとえに、日頃よりご愛顧くださる皆さまのおかげと、心より感謝申し上げます。

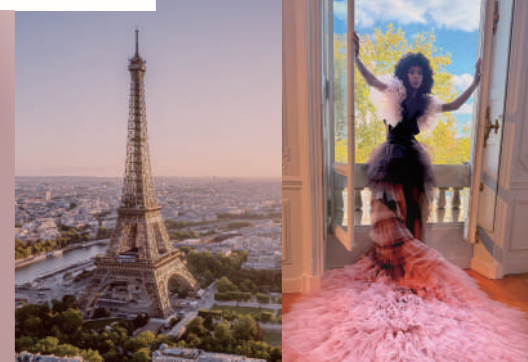
私たちはこれからも、世界中のひとりでも多くの方が幸せや感動に満ちた笑顔あふれる毎日を過ごせるよう、グローバルブランドとして新たな挑戦を続けてまいります。

今後も変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

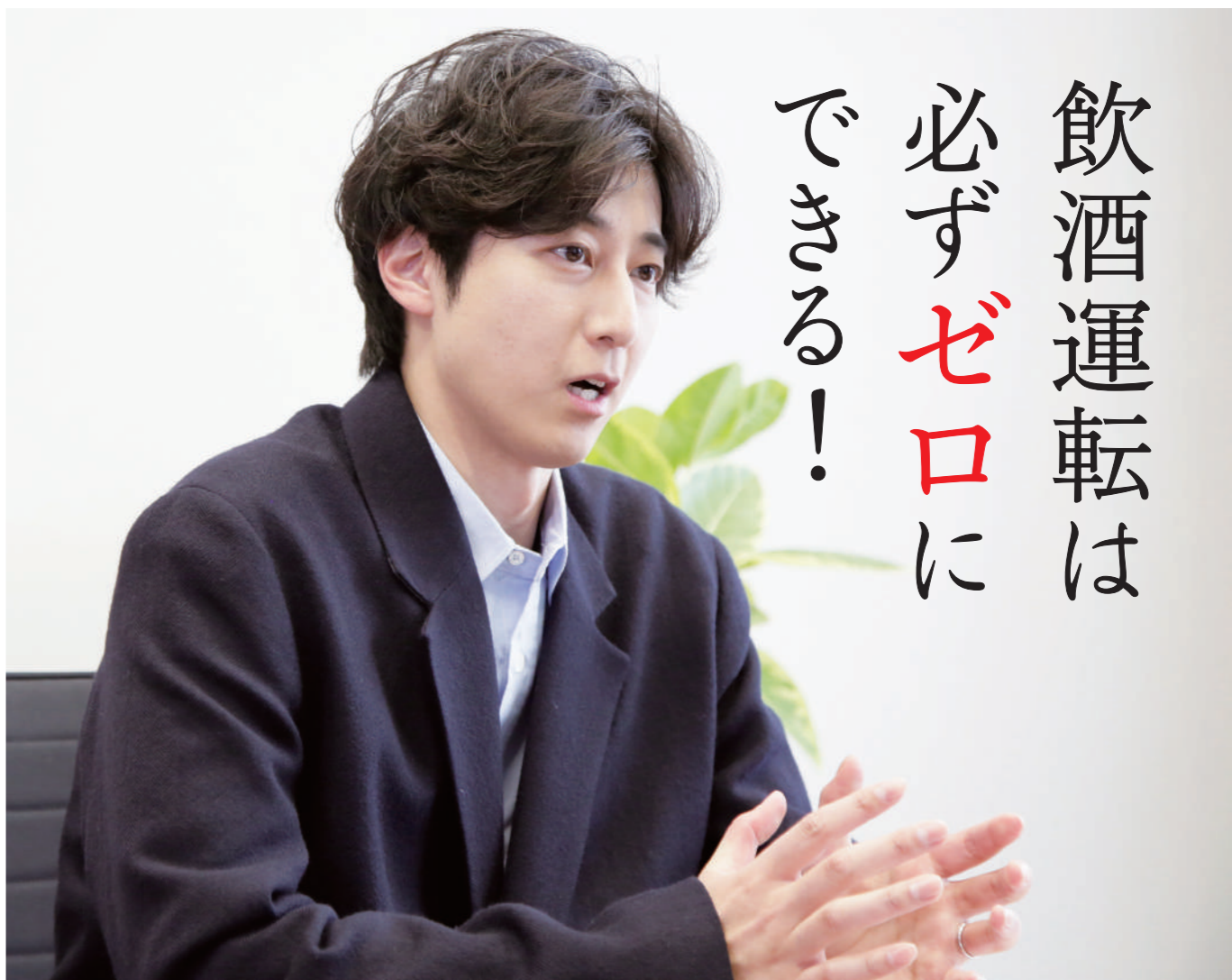


PERFECT ONE

新日本製薬



飲酒運転は 必ずゼロに できる！



博多みやげの定番菓子
十年間続くテレビCM

タレント 岡澤アキラさん

【おかざわ・あきら】1993年生まれ。福岡県太宰府市出身。2016年TNCの一般応募オーディションを経て「うどんMAP」に出演し一躍有名に。2025年4月からは、FBS「バリはヤッ!」のメインMCを務め、2026年4月からRKBラジオで毎週日曜21時から、冠ラジオ「岡澤アキラの今夜のびも完食で。」がスタート。

平成二十八年に、福岡の銘菓「博多の女」のテレビCMに起用していただいてから、今年で九十年になります。そのテレビCMは現在も放映されており、福岡でのデビューのきっかけとなった仕事を今もずっと、皆さんに見ていただいていることに感謝は尽きません。もし可能であれば、私がお爺ちゃんになるまで使って頂き、放映してくださいと有り難いですけどね(笑)。

親から教わった 「モノを大事にする心」

工業高校で「環境化学」を学んでいたこともあり、環境に配慮したものや、未来に繋がるものについて、とても興味がありました。

元々、幼い頃から「モノを大事にする習慣」を親から教わってきたので、モノを粗末にせず、未来へ長く継承していくという環境思考が段々と身につけていったんだと思います。

今はまったく別の分野で仕事をしていますが、その精神というか、魂みたいなものは、ずっと持ち続けていますね。

海洋汚染による生態系への影響が巷では語られています。博多湾に潜ってみると、それはもう様々なゴミでいっぱいなんです。地上からは見えないところに、厳しい現実があります。

私たちは海からの恩恵を受けています。福岡県民の生活も命も、海から享受しているものが多分にある。

一人で現状を変えることは難しいけれど、一人の「個性」というのは決して小さくないと思うんです。

一人の行動習慣が変わることによって、さらにその行動の輪が広がれば、社会を変えることができる——

私は、そう考えています。一方で、私たちの身近には、たくさんモノが溢れていて、その大量生産の影に浮かび上がる「大量廃棄」の現実が、自然環境に大きな課題を投げかけています。

例えば、自分が持っている服を、また来年も着れば、何万トンもの大量廃棄を減らすことができるという話を聞いたことがあります。

Tシャツ一枚を作るのにも、たくさんのお水が使われます。だから大切に、長く使うということが資源を無駄にせず、自然環境を守っていくことになるんです。

地球環境のためにも、未来のためにも「モノを大事にする」という心こそが、今、いちばんカッコよくて、オシャレなんじゃないかと私は思いますね。

環境を守り、大切にすることは、自分自身のためにも、身近なところからしか動いていきません。自分の身の回り、「足元」から変えて行かなければ、世の中の現状は変わらないということなんです。

私たちの生活を守り、命を大切にすることも、これとまったく同じです。モノを粗末にすれば、それは必ず自分に返ってきます。誰かを傷つけられ、自分も傷ついてしまう。これが自然の道理なんです。

飲酒運転ゼロの街—— それを福岡の魅力にしたい

私は、福岡が大好きです。もっと、福岡県民であることを「誇りにしたい」と、思えば思うほど、福岡が直面する飲酒運転の現状は許しがたい。

お酒を飲んだらハンドルは握らない——簡単なことなんだけど、なかなか無くない。なぜ、無くならないのか？この現状はとも「もどかしい」ですよ。



飲酒運転は、皆で「ゼロ」にしましょう！

<p>結局、人だ。</p>		

(順不同)

(順不同)

飲酒運転根絶フォーラム2026

“いのちの音 こころの声”



いのちの音 こころの声

二〇二六年——今年には福岡県で発生した飲酒運転事故の教訓を、あらためて捉え直す重要な年です。海の中大道大橋での事故から二十年、そして粕屋町での事故から十五年という佳節を迎える今年二月、福岡市の「なみきスクエア（東区）」にて、「飲酒運転根絶フォーラム2026」が開催されました。

毎年二月に開催されているこのフォーラムは、「いのちの音・こころの声」を、本年のテーマとして掲げました。

耳をすませば聞こえてくるはず——大切な命の鼓動と、切実な心の声。

飲酒運転によって、大切な命を傷つけてしまうことがないように、言葉にならない声にも耳を傾け、切実な思いを伝えていくため、若者たちをはじめとする多くの人たちと共に、心のチューニングを合わせる有意義な機会となりました。

救えなかった命 もつと生きたかった命

フォーラムのメインアクトでは昨年に続き、シンガーソングライターの川嶋あいさんが登壇。今年も、エフエム福岡の愛智望美アナウンサーとトークセッションを繰り広げてくれました。

川嶋さんは語りました。

「私たちの周りには、救えなかった命や、もつと生きたかった命がたくさん存在しています。今を生きている私たちが、これからの未来のために、生きやすい社会をつくって行かなければ、飲酒運転という悲しみの連鎖を断ち切ることはできないのではないのでしょうか？心の声が、多くの命の鼓動と共鳴できることを願って、これからも命の大切さを発信していきます」

「飲酒運転は、絶対にゼロにできる！今日あらためて、皆さんの心の声を聞いて、そう確信しました。悲しみの連鎖を福岡から断ち切っていきましょう！」

オープニングアクトでは、福岡市の高校生たちがそれぞれの演目を披露。

博多高校・和太鼓部は、太鼓の音(振動)を通して、自分たちの「想いを伝える」、自分自身が明るく未来へ向かって「羽ばたいて行く」という決意を込めて、勇壮な調べを奏でてくれました。

博多高校・書道部は今年も、墨痕鮮やかな書を披露。「書は人生と同じ。一度書き始めたら、書き直しはできません」——一瞬の判断ミスによって、取り返しのできない飲酒運転の悲劇を、自らの書に込めた想いと共に語ってくれました。

城東高校・応援指導部は、華麗なダンスやアクロバティックな組み体操と共に、飲酒運転ゼロの応援指揮をとってください、「一人でも多くの笑顔を守りたい！」との強い決意を込めて演技を披露。

若者たちのパフォーマンスは、会場の大人たちを魅了し、飲酒運転根絶への勇気を与えてくれました。

飲酒運転根絶は未だ「道半ば」であり、その実現のための道のりは「険しい」と言わざるを得ません。

しかし、私たちは決して悲観する必要などありません！なぜなら、飲酒運転根絶を目指し、その声を力強く発信してくれる「若者たち」がいるからです。

私たちは、この若者たちとの対話の中に、困難を希望へと変えていく「確かな力」を感じるのです。

私たち福岡県民の結束は、決して無力ではありません。一人ひとりの力は、小さくても、私たちの行動はやがて社会を変え、世界さえも動かす事ができます。互いに力を合わせ、社会のために「できること」を積み上げていく——そのアプローチこそが、飲酒運転根絶への着実な道のりであることを、私たちは信じて疑いません。

私たちの「こころの声」を、広く社会に訴え続けていけば、未来へと鼓動する「いのちの音」が失われることは、断じてないのです。

福岡県からのお知らせ

「飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店」の届出にご協力ください!



福岡県飲酒運転撲滅条例において、事業者は、従業員が飲酒運転を行うことを防止するとともに、飲酒運転の撲滅を宣言し、飲酒運転防止の取組(啓発チラシ・ポスターの掲示など)を行うよう努めることとされています。

また、お酒を提供する飲食店も、飲酒運転を防止するための措置を講じるとともに、飲酒運転の撲滅に取り組む旨の宣言を行うよう努めることとされています。

まだご登録いただいていない事業者・飲食店の皆様、飲酒運転撲滅を宣言し、みんなの力で福岡県から飲酒運転を撲滅しましょう!

飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店への登録

【登録届出の方法】

- 紙での届出 ▶ 県のホームページから様式をダウンロードし、下記問い合わせ先へFAX・郵送・電子メールのいずれかで送付
- オンラインでの届出 ▶ 県のホームページから電子申請 飲酒運転撲滅宣言企業・宣言の店の登録

【登録されると...】

- 登録証と飲酒運転撲滅ステッカーをお送りします。
- 県のホームページで、登録された事業者等の取組をご紹介します。
- 飲酒運転撲滅の啓発や教育に役立つメールマガジンをお送りします。
- 県の競争入札参加資格審査で加点を受けられます。 ※宣言企業のみ



【お知らせ】令和8年4月1日より「自転車の交通反則通告制度(青切符)」が導入されました!

令和8年4月1日より、16歳以上の者による自転車の一定の交通違反に対して、「交通反則通告制度(青切符)」が導入されました。反則金額は原付バイクと同等です。酒気帯び運転等の悪質な違反については、従来どおり、刑事処分の対象となります。自転車は、道路交通法では軽車両に位置付けられており、「車のなかま」です。道路を通行するときは、「車」として、交通ルールを遵守するとともに交通マナーを実践することなど安全運転を心掛けましょう。



お問い合わせ
福岡県 市町村・地域振興部 生活安全課 (交通事故をなくす福岡県民運動本部)
TEL. 092-643-3167 FAX 092-643-3169
Eメール anzen@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県飲酒運転撲滅 検索



飲酒運転を見かけたら、必ず110番通報をお願いします! 皆さんの通報が大切な人の命を救います。

飲酒運転根絶に向けた共同宣言

わたしたちは、「飲酒運転を絶対にしない、させない」活動を、パートナー・協力会社とともに実践いたします。

わたしたちは、適切な飲酒習慣を身につけ、酒気帯びでの運転は絶対に行いません、させません。パートナー・協力会社とともに実践いたします。

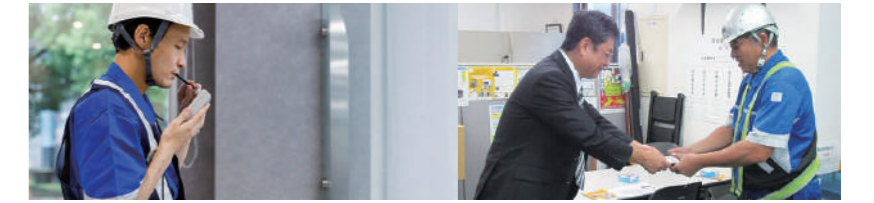
わたしたちは、点呼・アルコールチェックを行い、飲酒運転・酒気帯び運転の未然防止を行います。パートナー・協力会社とともに実践いたします。

企業の取組み 最前線レポート



飲酒運転根絶キャンペーン

物流を担う企業であるからこそ、飲酒運転は絶対にしない、させない。



4社トップの飲酒運転根絶へ向けた共同宣言

アサヒロジ(株)をはじめ、キリンググループロジスティクス(株)、サッポログループ物流(株)、サントリーロジスティクス(株)の大手ビール物流会社4社は、飲酒運転根絶に向けた「共同宣言」を発表。これにより、訴求力の向上や効率的な運用、輸送パートナーおよび協力会社との連携も図りながら、飲酒運転根絶への歩みを強化することを目的として団結しています。

この4社共同のキャンペーンは昨年、「ポスターの掲出」「リーフレットの配布」および各社の社長からドライバーへの「声かけ運動」を具体的に実施し、そのコミットメントの実現へ働きかけてきました。

アサヒロジ(株)では、自社ドライバーへのアルコールチェックの徹底は勿論のこと、拠点に入場する全ての協力会社のドライバーに対してもアルコールチェックを徹底しています。

さらに、業務前にマイカーで出社する社員にも個別に高性能のアルコールチェッカーを貸与。体内アルコール0・00%にこだわった点検を習慣づけています。

また、全てのドライバーにノンアルコール飲料のサンプリングを配布。「残酒リスタなく満足感が得られる」というコンセプトを展開し、とくに車中泊となるドライバーたちに好評だったといえます。こんな心遣いも、飲酒運転ゼロに貢献しているのかもしれない。

全社・全従業員の皆さんが日常業務の中で積み重ねてきた努力はこれまで、「飲酒運転事例ゼロ」のまま、ずっと推移しています。

社会から信頼される企業であり続けるために、コンプライアンスを主軸とした取り組みを徹底し続けてきたアサヒグループ。飲酒運転根絶は、全社共通の最重要課題として位置付けられているといえます。

アルコールを取り扱う物流企業としての責任を、とても強く感じました。

は|あ|と|N|E|W|S TOMOsをご覧ください、ありがとうございます。

令和8年4月1日から、自転車の交通違反に対して「交通反則通告制度(通称:青切符)」が導入されました。自転車は、幅広い世代が気軽に利用できるとも便利な乗り物ですが、だからこそ、正しいルールのもとで安全に利用していきたいですね。

私たちは「飲酒運転事故で悲しむ人をゼロにする」という思いを胸に、活動を続けています。車も自転車も、ハンドルを握る一人ひとりの思いやりが、悲しい事故を防ぐ大きな力になると信じています。新しい制度を機に「思いやり」のマナーの輪を広げていきましょう。



人と未来を、息吹で紡ぐ。

東海電子株式会社

飲酒運転ゼロを世界へ

アルコール検知器で安全な交通社会を実現

物流は眠らない 株式会社野村運送

いつも笑顔でお客様に満足と喜びをお届けします。 トールウェイサービス株式会社

西部電気工業